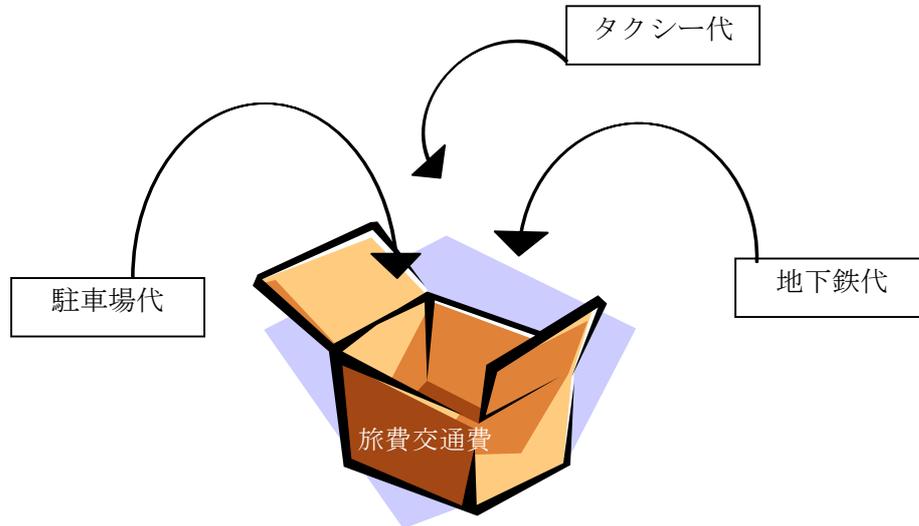


「勘定科目」って何？

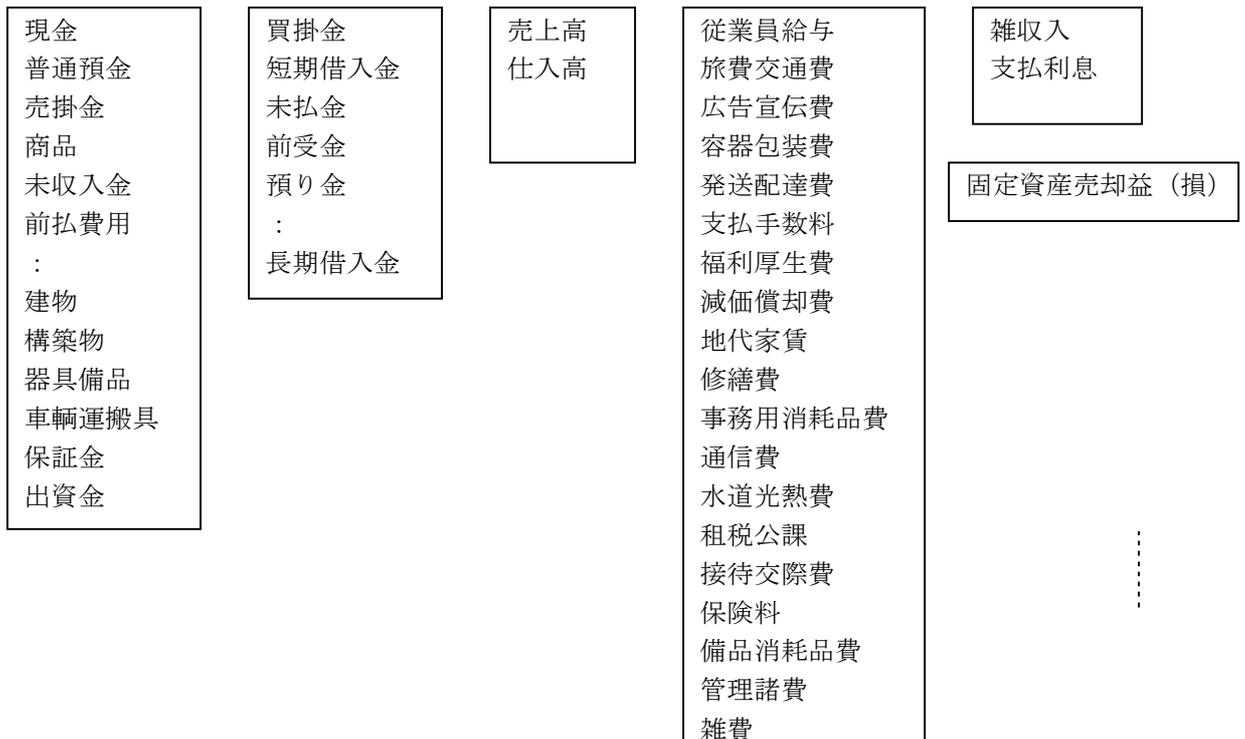
提供：丸山昭一税理士事務所

1. 勘定科目の概念



帳簿に記入するうえでの
項目別の分類を意味します

2. 勘定科目の種類



2.勘定科目の注意

① 同じ内容は統一して同じ勘定科目で（首尾一貫性）

科目の使用は原則自由です。その会社にとって感覚に合う科目を使うのが良いと思います。しかし一度その科目で処理した場合には最低でも同一期間に変更をしないでください。毎月発生するものについては一年を通し12回計上されているかどうかを確認したり、月ごとの比較検討ができなくなってしまうからです。そして前年対比をする上でも毎年継続して同一科目で処理することが望ましいです。



② 内容に応じた適正科目で（同業種間比較）

年間発生額につき売上対家賃比率や労働分配率を計算し、同業種と比較してどうなのかを検討することによって、引越しや給与見直しなど今後の経営判断に有用な情報となります。できる限り勘定科目の適正に合わせた科目を使用するようにしましょう。



③ 誰でもわかる名称を（明瞭性）

勘定科目の名称は自由に設定できます。企業の特殊性を考え自由な名称をつけてかまいません。しかし本人にしかわからないような科目名称の場合には、第三者（金融機関や取引先）が判断をする上で誤った情報を開示することになるやもしれません。正当な評価を受けるためにも一目で一般的な人でも判断できうるような科目を使用しましょう。

